

水浸しになり アユを「捕獲」

親子連れら楽しむ

一ツ瀬川水系の内水面漁業者でつくる新佐漁協（井上之暉組合長）は7日、新富町設置の富田浜公園プールで恒例の「アユのつかみ取り大会」を開いた。組合員やその家族約500人が来場。晴天下、

プールに放たれた魚を追い回すなどして楽しんだ。

会場となった児童用プールには、アユおよそ2500匹を放流。大会は、午前11時から子ども、女性、男性の部に分けて実施された。

そのうち子ども部では、児童らが水浸しになりながら魚を捕まえ、夢中になって持参したクーラーボックスや籠に移し入れる光景が見られた。

同町新田の井上照雄さん（65）は孫の堀北大和君（10）＝新田学園小学部5年＝を連れて来場。初めて参加したという堀北君は「数は捕れなかったが、大きなアユを捕まえることができ満足。来年もまた来たい」と笑顔。井上組合長は「昨年よりも

多くの人が参加してくれた。組合員に家族で楽しんでもらえて何より」と話していた。



水浸しになりながら夢中になってアユを捕まえる子どもたち